

令和3年6月15日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和3年4月～6月期実績、令和3年7月～9月期見通し)

《1》 調査時点 令和3年6月4日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
149企業 (回答率99%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	27	2	2	3	3	10	10	8	8	4	4	27
建設業	26	2	2	3	3	13	13	5	5	3	3	26
小売業	33	9	8	2	2	11	11	9	9	2	2	32
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	8	5	5	7	7	0	0	0	0	20
サービス業	22	2	2	2	2	12	12	3	3	3	3	22
合計	150	30	29	17	17	59	59	31	31	13	13	149

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨新型コロナウイルスによる影響について昨年同月との比較

【令和3年4～6月期実績】

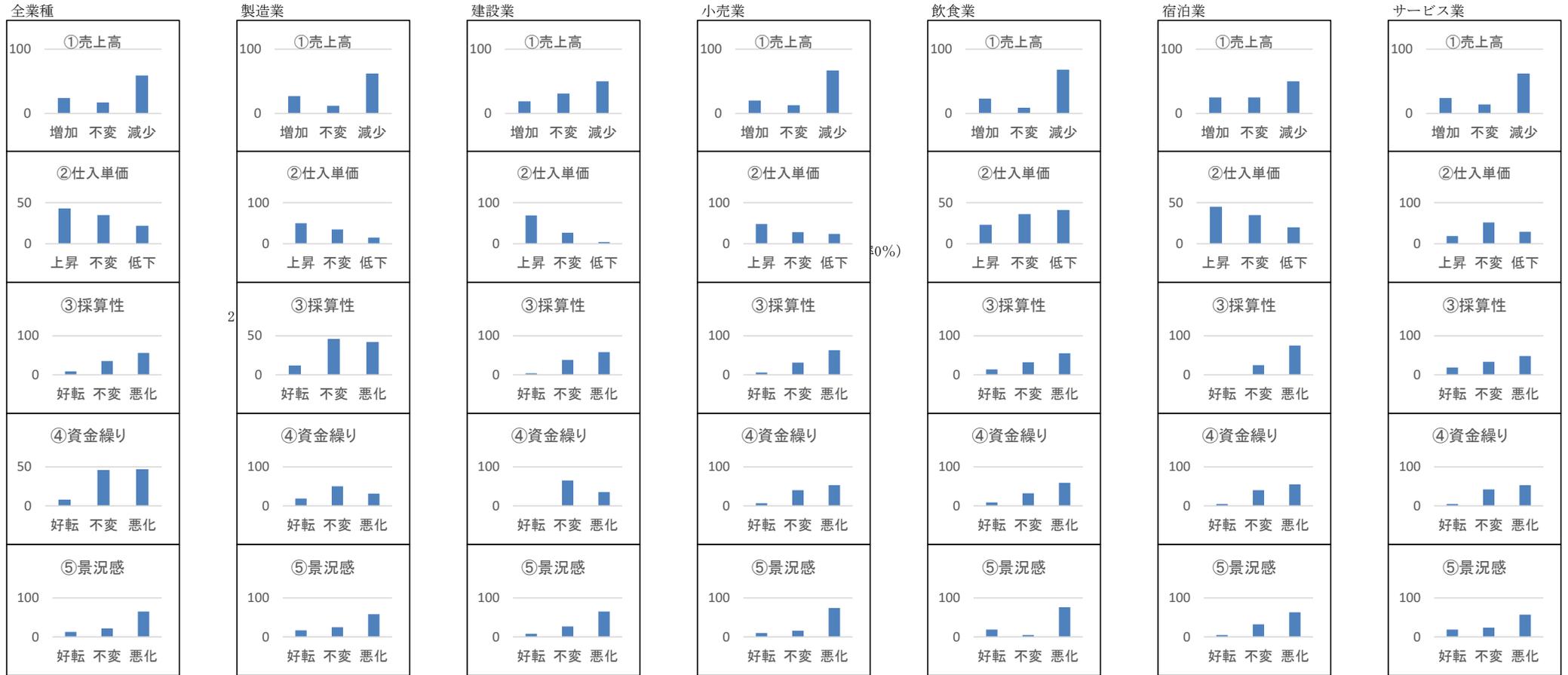
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲62→) ▲40 (前期差22ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別売上高DIは、全業種が上昇した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、前期24→6 (前期差18ポイント減) となりプラス幅が縮小した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、サービス業が上昇し、建設業、小売業、飲食業、宿泊業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲51→) ▲51 (前期差0ポイント) と横ばい。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業が上昇し、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲42→) ▲37となり (前期差5ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別資金繰りDIは、製造業、宿泊業が上昇し、小売業が横ばい、建設業、飲食業、サービス業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲66→) ▲57 (前期差9ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、製造業、建設業、飲食業、宿泊業が上昇し、小売業、サービス業が低下した。

【令和3年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲22となり18ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別売上高DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、36となり30ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が横ばいとなる見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲43となり8ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別採算性DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲36となり1ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別の資金繰りDIは、製造業、建設業が上昇し、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲37となり20ポイントマイナス幅が縮小する見通し。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和2年4月～6月）と比べた今期（令和3年4月～6月）の状況

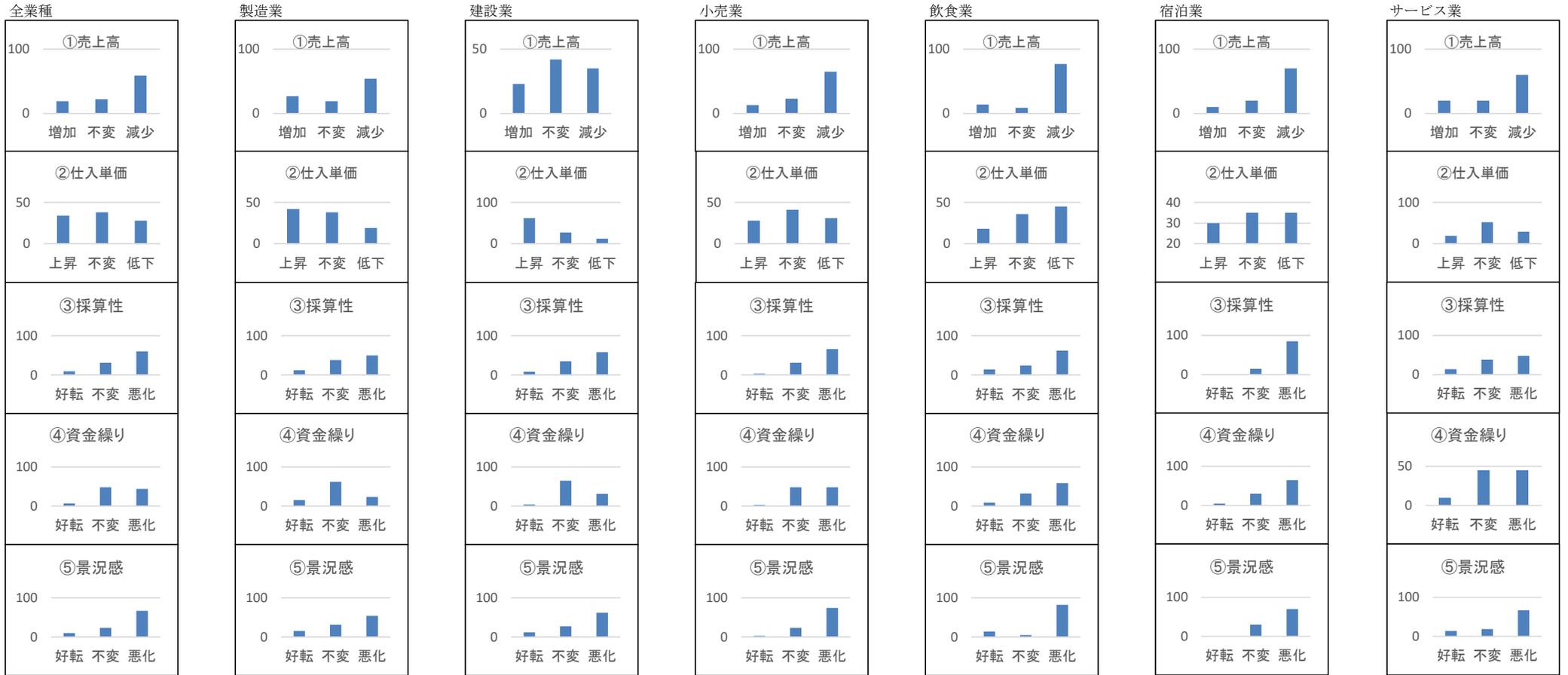


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 35	▲ 35	▲ 31	▲ 47	▲ 45	▲ 25	▲ 38
仕入単価	21	35	65	24	▲ 18	25	▲ 10
採算性	▲ 47	▲ 30	▲ 54	▲ 57	▲ 41	▲ 75	▲ 29
資金繰り	▲ 39	▲ 12	▲ 35	▲ 46	▲ 50	▲ 50	▲ 48
景況感	▲ 52	▲ 41	▲ 57	▲ 64	▲ 57	▲ 58	▲ 38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（令和3年1月～3月）と比べた今期（令和3年4月～6月）の状況



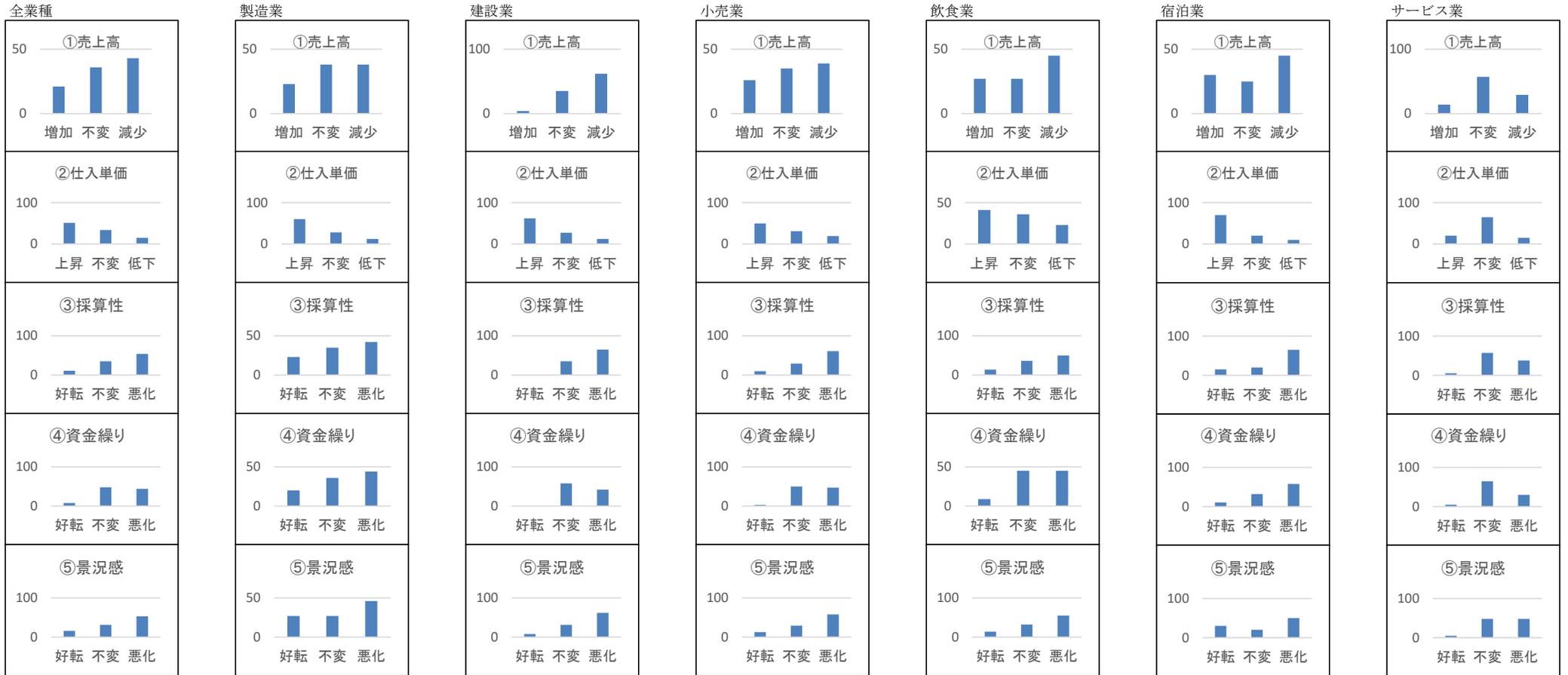
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 40	▲ 27	▲ 12	▲ 52	▲ 63	▲ 60	▲ 40
仕入単価	6	23	50	▲ 3	▲ 27	▲ 5	▲ 10
採算性	▲ 51	▲ 38	▲ 50	▲ 63	▲ 48	▲ 85	▲ 34
資金繰り	▲ 37	▲ 8	▲ 27	▲ 45	▲ 50	▲ 60	▲ 35
景況感	▲ 57	▲ 39	▲ 50	▲ 71	▲ 68	▲ 70	▲ 53

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和3年4月～6月）と比べた来期（令和3年7月～9月）の見通し

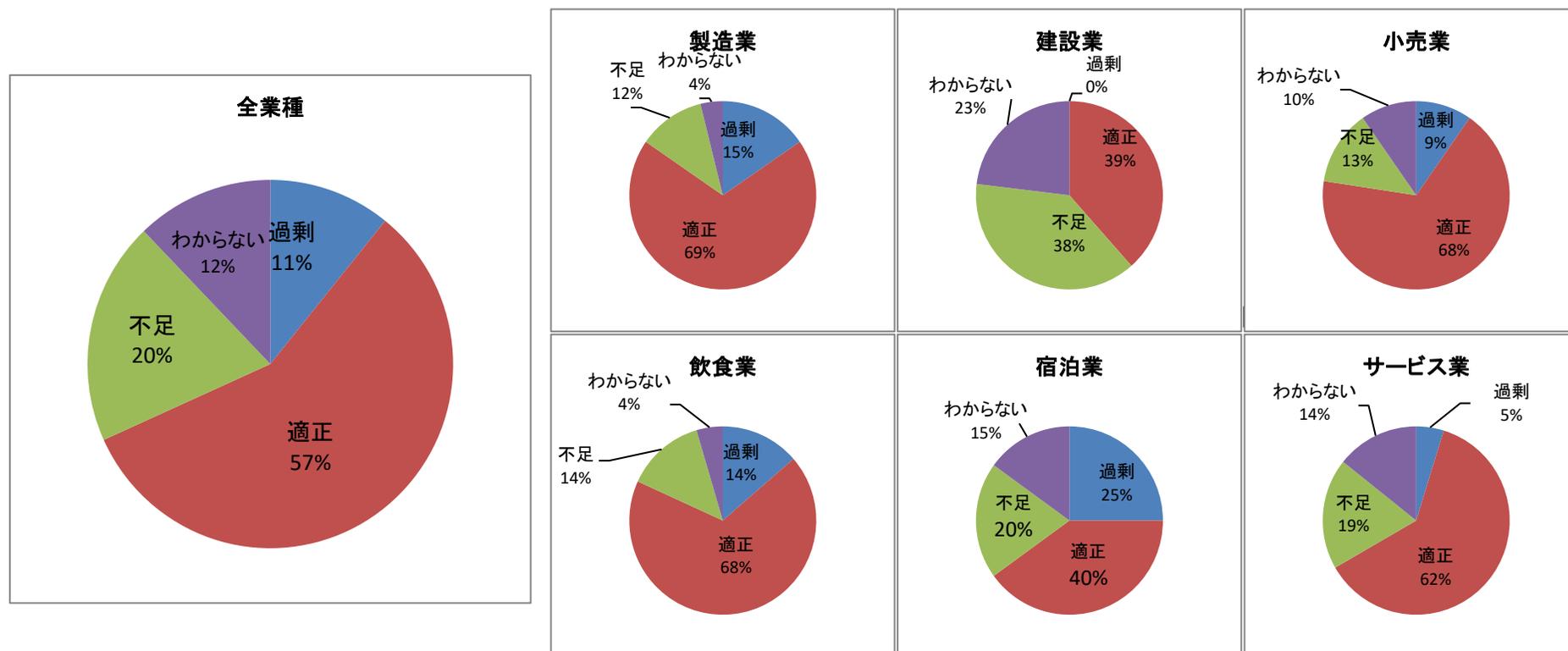


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 22	▲ 15	▲ 58	▲ 13	▲ 18	▲ 15	▲ 15
仕入単価	36	48	50	31	18	60	5
採算性	▲ 43	▲ 19	▲ 65	▲ 51	▲ 36	▲ 50	▲ 33
資金繰り	▲ 36	▲ 24	▲ 42	▲ 44	▲ 36	▲ 47	▲ 25
景況感	▲ 37	▲ 19	▲ 54	▲ 45	▲ 41	▲ 20	▲ 43

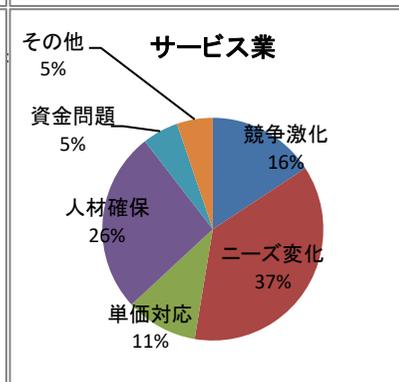
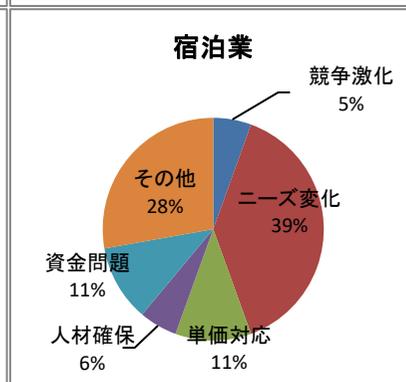
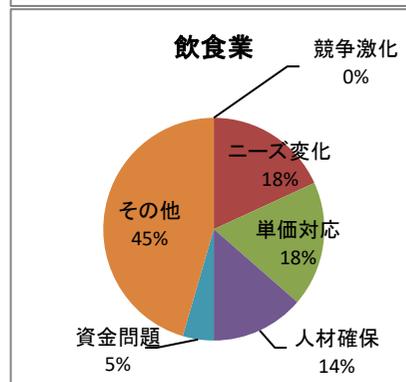
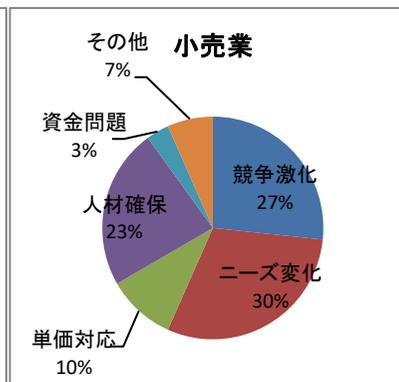
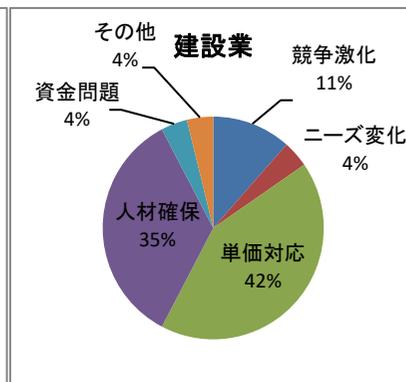
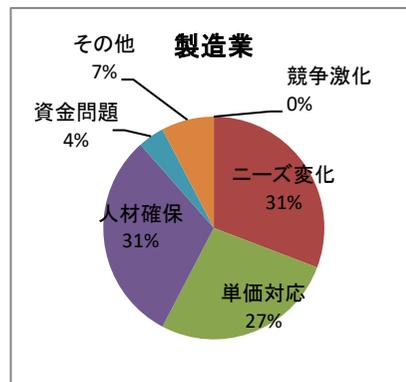
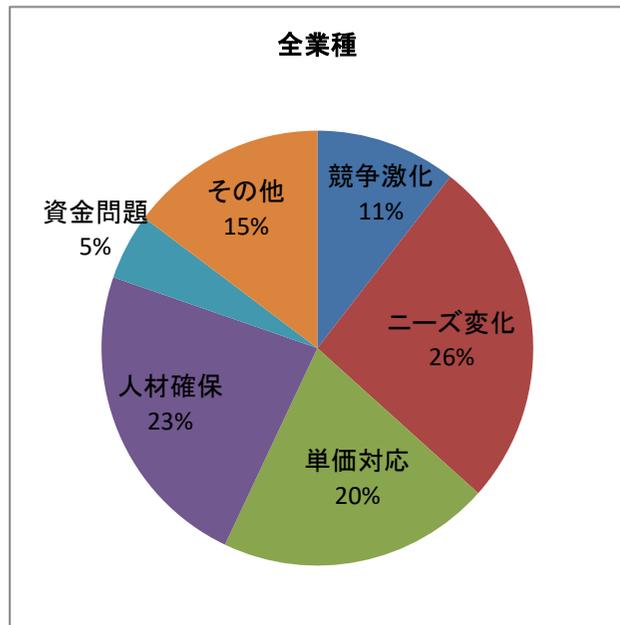
(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



⑥従業員の人数 (件数)	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
过剩	16	10.8%	4	15.4%	0	0.0%	3	9.7%	3	13.6%	5	25.0%	1	4.8%
適正	85	57.4%	18	69.2%	10	38.5%	21	67.7%	15	68.2%	8	40.0%	13	61.9%
不足	29	19.6%	3	11.5%	10	38.5%	4	12.9%	3	13.6%	4	20.0%	4	19.0%
わからない	18	12.2%	1	3.8%	6	23.1%	3	9.7%	1	4.5%	3	15.0%	3	14.3%
合計	148		26		26		31		22		20		21	

【5】直面している経営上の問題点について



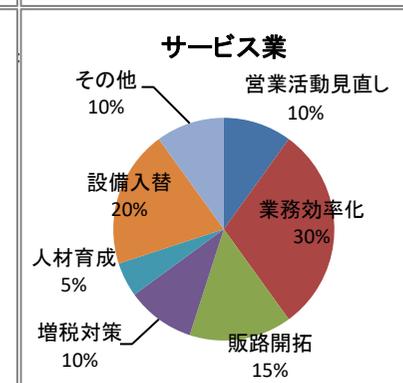
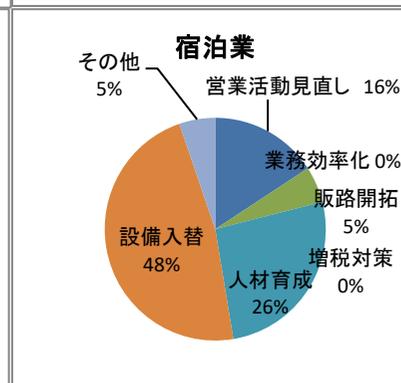
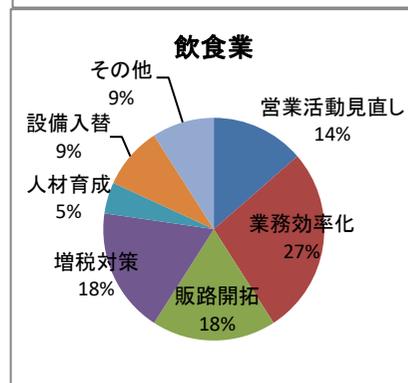
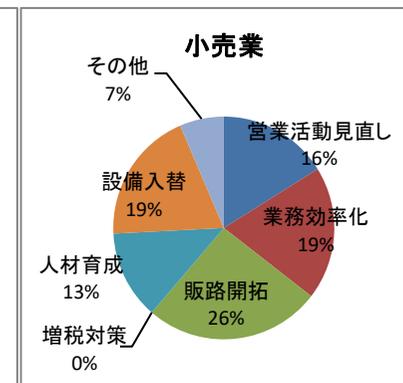
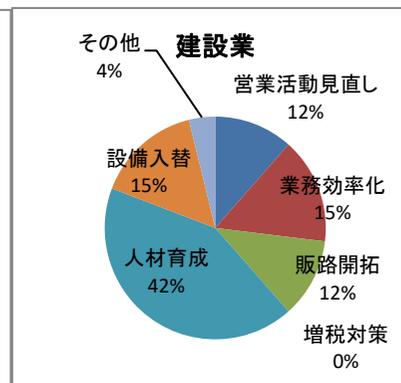
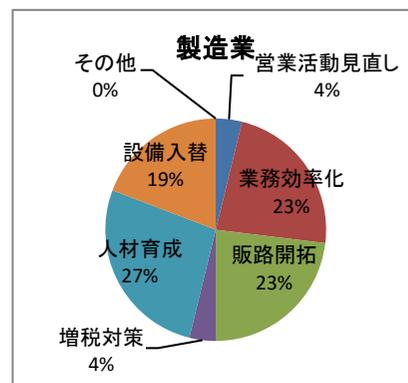
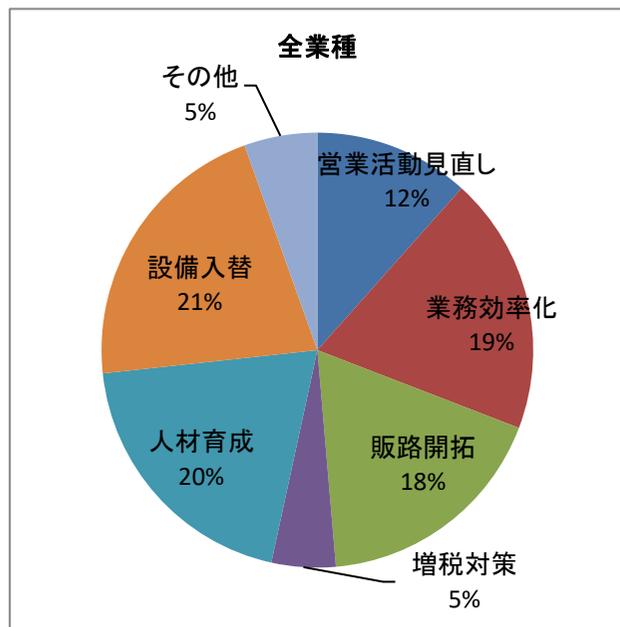
⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	15	10.6%	0	0.0%	3	11.5%	8	26.7%	0	0.0%	1	5.6%	3	15.8%
消費者（製品）ニーズ変化への対応	37	26.1%	8	30.8%	1	3.8%	9	30.0%	4	18.2%	7	38.9%	7	36.8%
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	29	20.4%	7	26.9%	11	42.3%	3	10.0%	4	18.2%	2	11.1%	2	10.5%
必要な人材の雇用確保	33	23.2%	8	30.8%	9	34.6%	7	23.3%	3	13.6%	1	5.6%	5	26.3%
事業資金の借入難	7	4.9%	1	3.8%	1	3.8%	1	3.3%	1	4.5%	2	11.1%	1	5.3%
その他（自由記述）	21	14.8%	2	7.7%	1	3.8%	2	6.7%	10	45.5%	5	27.8%	1	5.3%
合計	142		26		26		30		22		18		19	

競争激化
ニーズ変化
単価対応
人材確保
資金問題
その他

【5】直面している経営上の問題点について（その他）

1	酒類販売をメインにしている当店といたしましては、飲食店の酒類提供停止！イベントの中止！観光客の減少！と暗いニュースばかりです。かと言って、家飲み需要が増えるか？と言うと不景気なので、なるべく安い所で購入されるため、あまり恩恵は受けていません。経営努力で大幅売上ダウンはしていませんが、国に対して何らかの救済措置を期待しています。
2	緊急事態宣言のため、来客がないことが1番の問題。旅行のイメージを回復していただきたい。
3	従業員数は多いが、必要な部署の人数が少ない。
4	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、売り上げが大幅に減少している。
5	コロナの影響で、中々状況が読みづらい状況であり、この影響もあり物価が上昇すると思われるので、販売価格等も慎重に決める必要が有ると考えてます。
6	事業承継のタイミングがわからない。
7	新型コロナウイルス対策による時短、休業により観光客激減で売り上げが大幅減の状態です。その上最小限の仕込みでも余剰分ができ食品ロスが多くできてしまう。

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



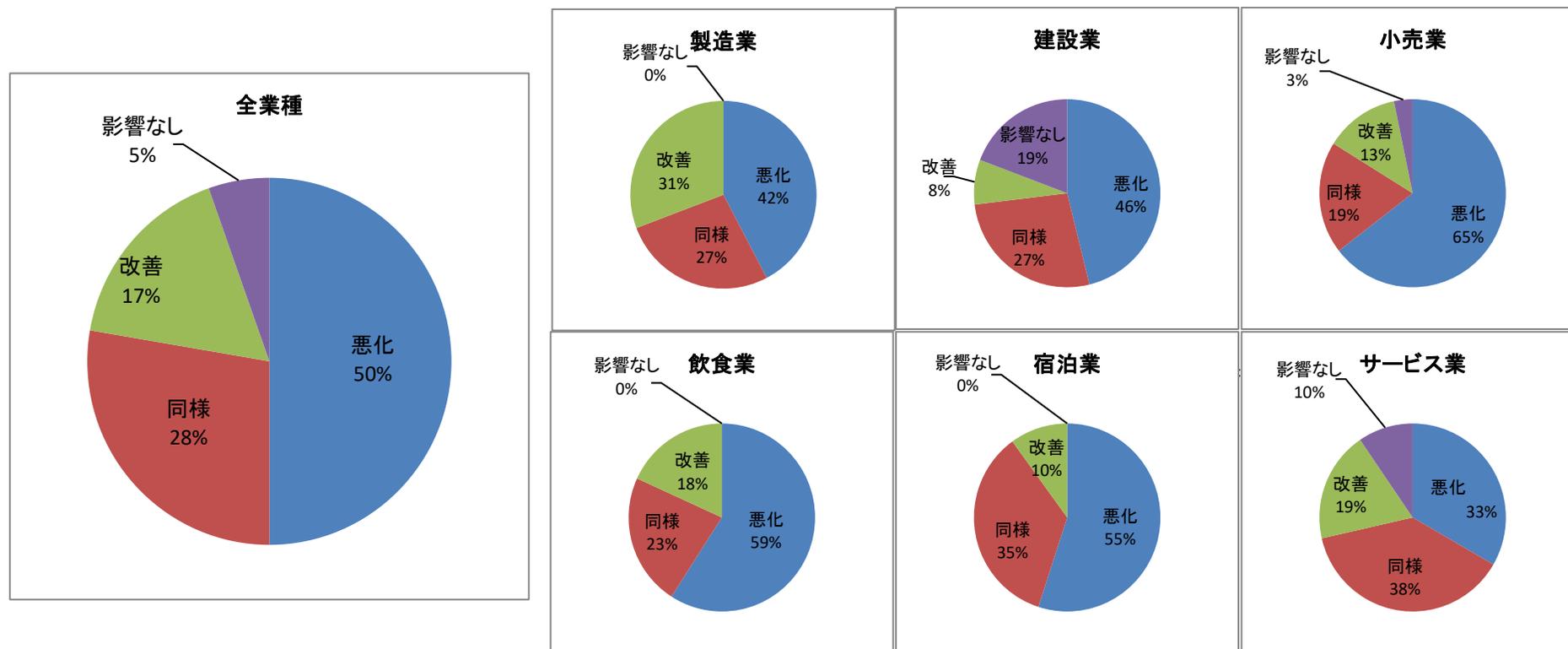
⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	17	11.6%	1	3.8%	3	11.5%	5	16.1%	3	13.6%	3	15.8%	2	10.0%
業務の効率化、仕事の見える化	28	19.2%	6	23.1%	4	15.4%	6	19.4%	6	27.3%	0	0.0%	6	30.0%
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	26	17.8%	6	23.1%	3	11.5%	8	25.8%	4	18.2%	1	5.3%	3	15.0%
消費税増税対策、会計管理の見直し	7	4.8%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	18.2%	0	0.0%	2	10.0%
人材育成、社員教育	29	19.9%	7	26.9%	11	42.3%	4	12.9%	1	4.5%	5	26.3%	1	5.0%
設備の入替・更新	31	21.2%	5	19.2%	4	15.4%	6	19.4%	2	9.1%	9	47.4%	4	20.0%
その他	8	5.5%	0	0.0%	1	3.8%	2	6.5%	2	9.1%	1	5.3%	2	10.0%
合計	146		26		26		31		22		19		20	

営業活動見直し
業務効率化
販路開拓
増税対策
人材育成
設備入替
その他

【6】 今後、取り組んでいきたいこと（その他）

1	コロナが収束し、また今回のコロナ感染の事態を境いにして、旅行・観光業界も様変わりをみせると思いますので、その状況に応じた経営の仕方・対策をいち早く講じていきたいと考えてます。
2	新型コロナウイルス対策の為、人数制限を行う中での収益の確保。
3	自社ビジネスモデルの確立。
4	状況が好転した時のために新メニューなどの開発。

【7】新型コロナウイルスによる売上等への影響について昨年同月（4月～6月）と比較してどのように変化していますか



⑨新型コロナウイルスによる売上等への影響について昨年同月と比較	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
昨年より悪化	74	50.0%	11	42.3%	12	46.2%	20	64.5%	13	59.1%	11	55.0%	7	33.3%
昨年同様	41	27.7%	7	26.9%	7	26.9%	6	19.4%	5	22.7%	7	35.0%	8	38.1%
昨年より改善傾向	25	16.9%	8	30.8%	2	7.7%	4	12.9%	4	18.2%	2	10.0%	4	19.0%
コロナの影響は全くない	8	5.4%	0	0.0%	5	19.2%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%
合計	148		26		26		31		22		20		21	

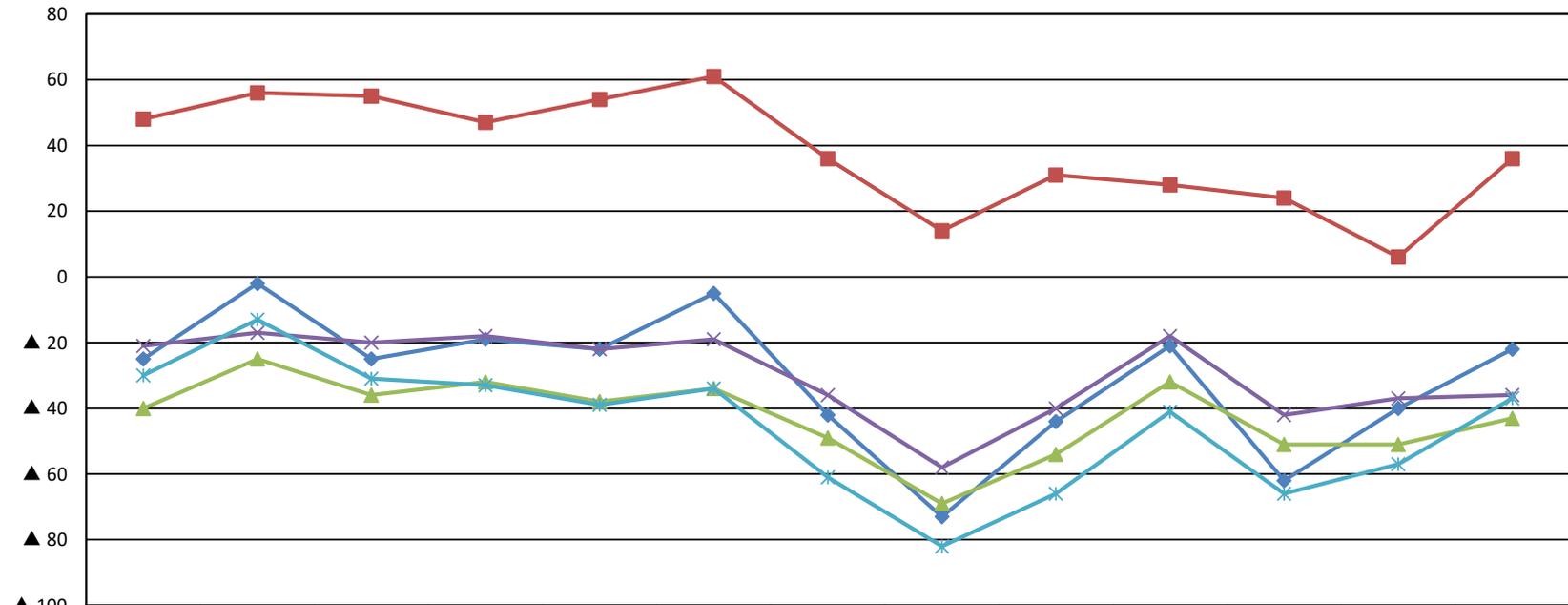
悪化
同様
改善
影響なし

【8】自由コメント

1	昨年も4月12日から7月10日頃まで休業、そして年間の売上の最も多い蟹シーズンも、本年は例年の25%に落ち込み、また現在緊急事態宣言により休業中、緊急事態宣言明けに、より多くのお客様にお越しいただけないと経営上継続できるだろうか不安。(城崎・飲食業)
2	緊急事態宣言延長によるコロナ禍の巣籠もり需要で更に忙しい。(但東・製造業)
3	新型コロナによる影響が長引き、先行きが不安である。ワクチンが行き渡ることにより、来期こそは好転することを願うしかない。また、この期間を利用し、将来を見据えて施設の見直し、拡充、会社経営の見直しを図りたい。(城崎・宿泊業)
4	同居の専従者給与の者は、休業支援金の給付が受けられない。コロナの影響で店の売上が1/5になると事業主の収入はゼロです。5月を例にすると専従者給与は1ヶ月通常30万円ですが今回は約5万円。事業主はゼロです。専従者給与の者に対しての再考が必要だと強く思います。(日高・飲食業)
5	現在、兵庫県時短協力金により資金面は安定しているが、緊急事態宣言解除後にどれだけの売上が見通せるか不明。(城崎・飲食業)
6	昨年は4・5月は休業要請があり、6月には客足が増えたが、今年はその見込みが少ない。(日高・宿泊業)
7	コロナウイルス感染症の流行で、景況感が悪化していると思う。誰もが思うことだが、初めての事態に今後どのような形で影響してくるのかわからない。コロナが落ち着き、日常に戻った時に出遅れないためにも準備を進めておきたいが、設備投資、人材確保等にどの程度まで資金を投じるか思案している。(日高・建設業)
8	ウッドショックと呼ばれる木材価格の高騰に引っ張られる形で全ての建材が品薄かつ価格上昇しています。今期はリフォーム豊岡の恩恵がありますが来年以降はメイン顧客(旅館・物産商店)がコロナ融資の返済をされることもあり絶望的です。(城崎・建設業)
9	緊急事態宣言による国からの支援金について、飲食店は、時短要請ということで1日当たりいくらという協力金が出ているが、土産物などの一般小売店には、月当たり微々たる額が支給されるのみである。観光地では、緊急事態宣言が出れば外出自粛ということで訪れる観光客が、ほとんどない状態である。宿泊、飲食店だけで観光地が成り立っているわけではない、不公平感を感じる。(城崎・小売業)

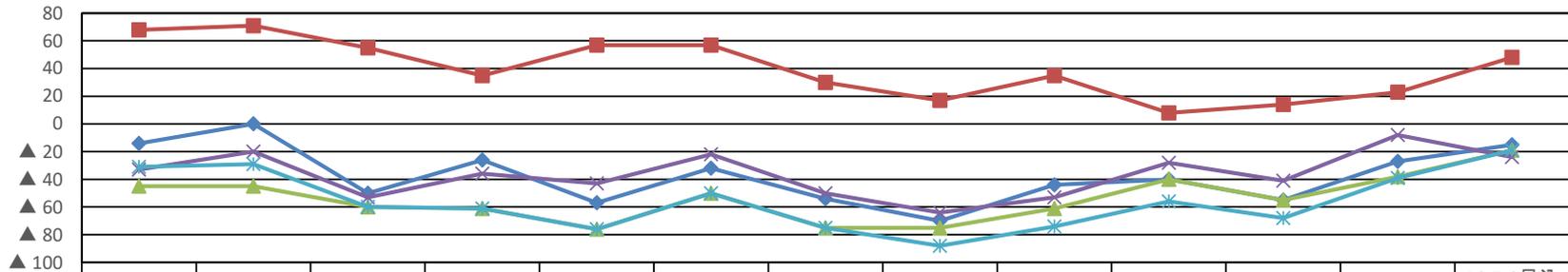
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



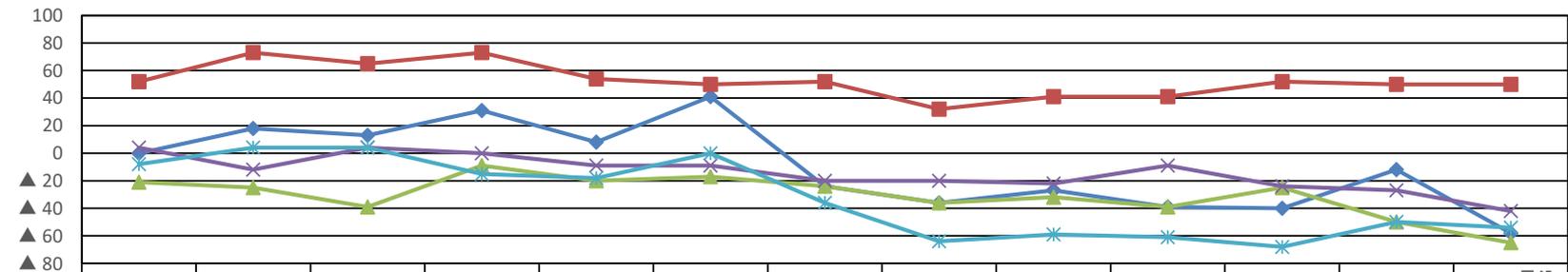
	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
売上高	▲ 25	▲ 2	▲ 25	▲ 19	▲ 22	▲ 5	▲ 42	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 22
仕入単価	48	56	55	47	54	61	36	14	31	28	24	6	36
採算性	▲ 40	▲ 25	▲ 36	▲ 32	▲ 38	▲ 34	▲ 49	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 43
資金繰り	▲ 21	▲ 17	▲ 20	▲ 18	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36
景況感	▲ 30	▲ 13	▲ 31	▲ 33	▲ 39	▲ 34	▲ 61	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 37

製造業DI推移



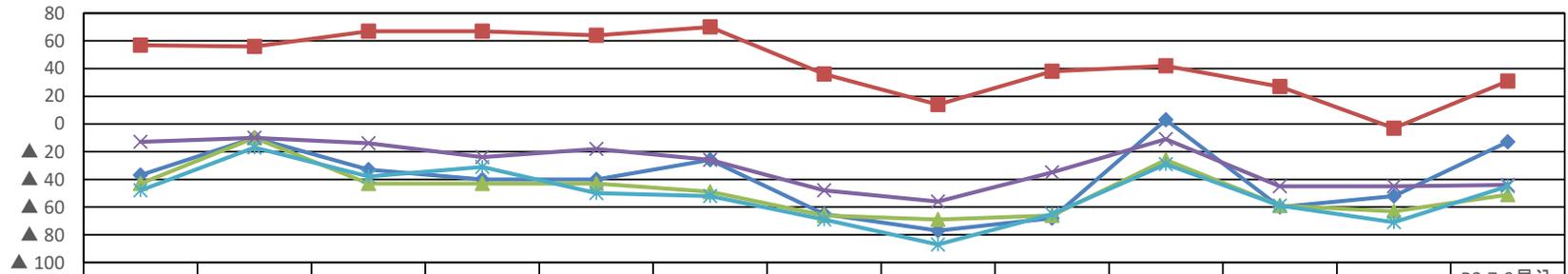
	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	▲ 14	0	▲ 50	▲ 26	▲ 57	-32	-54	▲ 70	▲ 44	▲ 40	▲ 55	▲ 27	▲ 15
■ 仕入単価	68	71	55	35	57	57	30	17	35	8	14	23	48
▲ 採算性	▲ 45	▲ 45	▲ 60	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 19
× 資金繰り	▲ 33	▲ 20	▲ 53	▲ 36	▲ 43	▲ 22	▲ 50	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24
✧ 景況感	▲ 31	▲ 29	▲ 60	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 19

建設業DI推移



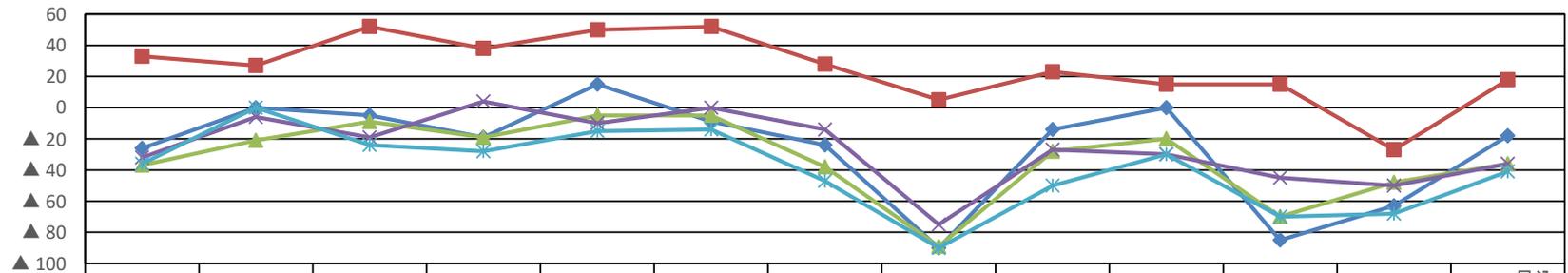
	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	0	18	13	31	8	41	▲ 24	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 58
■ 仕入単価	52	73	65	73	54	50	52	32	41	41	52	50	50
▲ 採算性	▲ 21	▲ 25	▲ 39	▲ 9	▲ 20	▲ 17	▲ 24	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 65
× 資金繰り	4	▲ 12	4	0	▲ 9	▲ 9	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 42
✧ 景況感	▲ 8	4	4	▲ 15	▲ 18	0	▲ 36	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 54

小売業DI推移



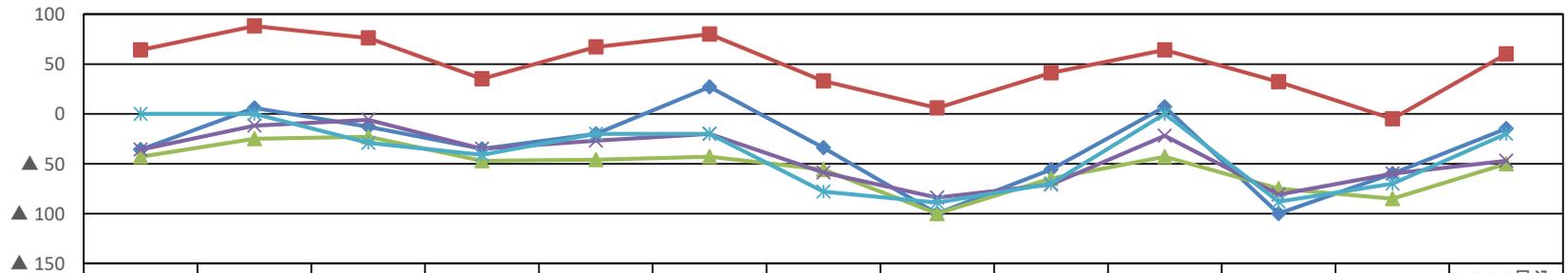
	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	▲ 37	▲ 10	▲ 33	▲ 40	▲ 40	▲ 26	▲ 65	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 13
■ 仕入単価	57	56	67	67	64	70	36	14	38	42	27	▲ 3	31
▲ 採算性	▲ 43	▲ 10	▲ 43	▲ 43	▲ 43	▲ 49	▲ 66	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 51
× 資金繰り	▲ 13	▲ 10	▲ 14	▲ 24	▲ 18	▲ 26	▲ 48	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 44
✧ 景況感	▲ 48	▲ 17	▲ 38	▲ 31	▲ 50	▲ 52	▲ 69	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 45

飲食業DI推移



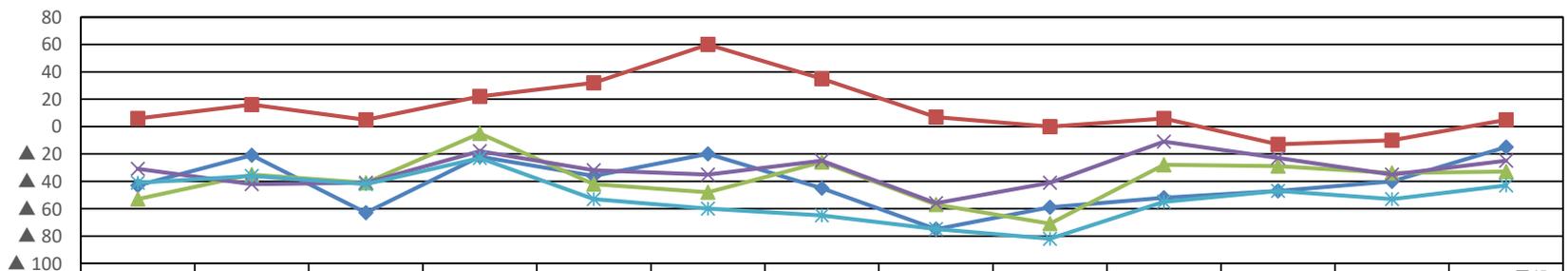
	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	▲ 26	0	▲ 5	▲ 19	15	▲ 9	▲ 24	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 18
■ 仕入単価	33	27	52	38	50	52	28	5	23	15	15	▲ 27	18
▲ 採算性	▲ 37	▲ 21	▲ 9	▲ 19	▲ 5	▲ 5	▲ 38	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 36
× 資金繰り	▲ 32	▲ 6	▲ 19	4	▲ 10	0	▲ 14	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 36
✧ 景況感	▲ 36	0	▲ 24	▲ 28	▲ 15	▲ 14	▲ 47	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 41

宿泊業DI推移



	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	▲ 36	6	▲ 13	▲ 35	▲ 20	27	▲ 34	-100	▲ 56	7	▲ 100	▲ 60	▲ 15
■ 仕入単価	64	88	76	35	67	80	33	6	41	64	32	▲ 5	60
▲ 採算性	▲ 43	▲ 25	▲ 23	▲ 47	▲ 46	▲ 43	▲ 56	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 50
× 資金繰り	▲ 36	▲ 12	▲ 6	▲ 35	▲ 27	▲ 20	▲ 59	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 47
✧ 景況感	0	0	▲ 29	▲ 41	▲ 20	▲ 20	▲ 78	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 20

サービス業DI推移



	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9見込み
● 売上高	▲ 43	▲ 21	▲ 63	▲ 22	▲ 36	▲ 20	▲ 45	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 15
■ 仕入単価	6	16	5	22	32	60	35	7	0	6	▲ 13	▲ 10	5
▲ 採算性	▲ 53	▲ 35	▲ 41	▲ 5	▲ 42	▲ 48	▲ 26	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 33
× 資金繰り	▲ 31	▲ 42	▲ 41	▲ 18	▲ 32	▲ 35	▲ 25	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 25
✧ 景況感	▲ 41	▲ 36	▲ 42	▲ 23	▲ 53	▲ 60	▲ 65	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 43